

2つの異なる建築の美術館を訪ねて

那珂川町馬頭広重美術館と廣澤美術館 日帰り

日帰り

那珂川町馬頭広重美術館

那珂川町馬頭広重美術館は栃木県那須郡に位置しており、歌川広重の版画・肉筆画をはじめ、小林清親や川村清雄などの作品を収蔵する町立美術館です。広重の肉筆画は40点以上を所蔵し、「天童広重」を含む貴重な作品群が大きな特色です。建築は隈研吾氏による設計で、切妻屋根の平屋建てが象徴的です。自然豊かな周囲の景観に溶け込むように設計され、内装にも烏山和紙や芦野石など地元素材が用いられています。展示は、所蔵品を中心とした企画展を年間8～9回開催し、浮世絵から近世・近代美術まで幅広く紹介しています。近年は、木材外装の劣化により大規模改修が行われ、2026年には木目調アルミ材を用いた新しい屋根でリニューアルオープンしました。建築と美術の両面から楽しめる、地域文化の核となる美術館です。



那珂川町馬頭広重美術館/イメージ

ご昼食

自家栽培の季節の野菜や旬の食材を使った松華堂弁当をお楽しみください。

廣澤美術館

廣澤美術館は、隈研吾設計の“石が主役”の建築と、地域ゆかりの日本画・洋画・工芸を中心とした展示、そして3つの庭園が一体となった私設美術館です。茨城県筑西市の「ザ・ヒロサワ・シティ」内に2021年に開館した廣澤美術館は、約3,000点の収蔵品を持ち、横山大観や板谷波山など茨城ゆかりの作家の作品を中心に展示しています。こちらも建築は隈研吾氏による設計で、最大の特徴は約6,000トン・1,500個の自然石で外観を覆い、建物を“風景に溶け込ませる”構造です。三つの直方体を正三角形に配置した独特の平面構成で、木材とガラスを組み合わせた柔らかな内部空間が、石の重量感と対照的な軽やかさを生み出しています。館内からは庭園を借景として眺められ、展示室の静けさと外の自然が調和するよう設計されています。派手な展示ではなく、静かに作品と向き合うための“空間そのものが作品”の美術館として評価されています。建築・庭園・展示が一体となった、現代的で独自性の高い美術館です。

- 添乗員/同行します
- 食事/昼食1回
- 集合場所/東京駅新幹線ホーム
- 交通機関/JR(東北新幹線)、大型または中型または小型貸切観光バス(うつのみや観光等)

■ご案内/※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。※交通時間は、予定時間となります。ダイヤ改正などで時間に変更になる場合もございます。



廣澤美術館 外観/イメージ

旅行日

2026年7月30日(木)

旅行料金

(お一人様)

32,500円

募集人員

20名様

(最少催行人員14名様)

東京駅(8:07~8:26)→(東北新幹線/普通車指定席)→宇都宮駅(9:00~9:18)→●那珂川町馬頭広重美術館(歌川広重の肉筆画を中心としたコレクションを有する美術館)→◎地元の旬の食材を使った松華堂弁当のご昼食→●廣澤美術館(ザ・ヒロサワ・シティ内にある「石を主役とした美術館」)→小山駅(17:33)→(東北新幹線/普通車指定席)→東京駅(18:16) 食事:朝×・昼○・夕×

※上野・大宮駅乗車ご希望の場合は、必ずご予約時にご連絡ください。ご連絡がない場合は、東京駅乗車となります。ご了承ください。

コース番号:11-8020-0062